

時事新報

政變は猶ほ驟雨の如し
近來我政治社會の様子を見るに何となく平生の無事ありしと或は何れ珍らした政變にてもあらんかと人々の心に待設る其趣きは田夫漁人が空合を取めて晴雨と下するもの、如し扱政治家の身と爲りて考れば一國の政權を握りて平生の志と事の實際に行ひ以て國民の苦樂を制するは此上も亦快楽にして其事情と論へて云へば俳優が劇場を演じて夥多の看客を泣かしめ又笑はしむるものに異ならず僅に數百數千人の感情と左右せんが爲先にとて殆んど身命を擲つまでには熱心強固する者ハ俳優あり然るを況んや政治家の技倆は俳優より大にして之を演ずる場所も廣く看客の數も會に百千人ならずして政法の一令一改は日本國中三千何百萬の人民として泣かしめ又笑はしむるに於てを其熱心の熱度比之俳優に比して同日の論にあつざる可し凡そ世の中の事物に就き之に熱すること甚だまければ其得失に際して執念深きも自然の勢にして既に政治社會に得たる地位を固く之を守りて失ふことあらんやとせし一度び失ふたるものは力を盡して之を回復せんまると勉む即ち世界古今政論の争は大抵皆此の事情に原因し政治社會は天の快晴日少き由縁にして殊に我日本は宗教學問商賈等の事より政治の事を重んじて政論流行の國柄なれ其熱度も特異なりしものと知る可し左れば近日世間に取らるるものならん俟令への待設るが如く容易には行はれざるものならん俟令へ行はるるも秋天に片雲と見て忽ち雨に逢ふなど云ふ淡泊なる次第にはむらさる可し如何となせば日本の政治社會は熱度高きにして執着の念深ければなり又一方に政權を新する者の爲めに謀りて今日と期せざる所は多かるも變後の實際に至りては存外に然らざることも多からんれば其邊は今より覺悟ありて然る可きとなり今日より考れば此は斯の如くして彼の事は云々し此の利を起して其害を除くなど滿腔の妙案沛くが如くにして黄金世界の想像畫を得て美ありと雖ども扱實際に臨んをば種々無量の困難に逢ひ是れも意の如くならず其れも心に任せずして今日と妙案果して妙あらず資金の世界遂に資金あらざるの奇談もある可し如何とせば政治社會ハ日本國の一部分にして其部分の變化は以て俄に日本全體の變化を致すにたざればなり斯民や徳川時代の重税實弊に生劣文明改進の遺産に就かんとかく實力あければなり斯民や數百年來の教育に欺へらば俄に文明の事を聞くも思想輕薄にきて動もれば主義の極端より極端に走るの弊を免かれればなり斯民や身を處するに公權政權を食るを知て私權人權の重きと知らず以て他を壓制するにあらざれば他の壓制の下に受んする者あればなり斯民の男性は人倫と輕んがて品行と慎まらず漸く家族の内にて起して惡例と天下に示す者多ければなり此種の積弊を計れば枚舉に遑あらず何れも社會改良の路に横ばる困難なれば今の政治家が政變と斯其變後を想像して多を測するが如きは我輩の慮服せざる所なり

の小事變の機に投て天下の人心を一轉し此れより彼れに換はり右より左に變する其變換の小時間を倫み其時を極めて幾年月の長を成し之を太平の年と名く可きのみ即ち政治社會新陳交代に如きは人間の小事變なれば假令へ變後の實際に大に利す可きの見込もあさふもせよ單に其事變よ由て人心を一新するの利益のみにて既大あざと云ふ可ま之を喻へば人間の政變は天時の驟雨の如し炎暑中の一雨一雷以て夏を變して秋と爲すに足らずと雖も一夕の清涼を催はして人氣と爽にすの効驗の甚だ大あり我輩の持論は本來政治社會の交代を手輕に視るものよして其期限の長短は甚だ願ふ所にあらざるに三五年にして一新を催はし一新又一新の小事變に乗せて天下の人心を清涼ならしめて太平を持続せんと欲するのみ我國脈こそ千萬歳傳へて無窮なるとも其國人の集會したる政治社會は一時に集合かり如何なる主義のものにても其萬歳と祈るが如きは我輩に敢てせざる所なり

官報

臨時發行紙幣消却に關する勅諭
露國の臨時發行紙幣消却方關し本年七月十日露國皇帝は大藏大臣心得宛て左の勅諭を發せられたり(本年七月三十一日露國官報)
朕露國千八百八十一年一月一日(我一月十三日)ヲ以テ大藏大臣へ下附シテ勅諭シ同大臣ニ命スルニ更ニ紙幣ヲ増刷セザルニシテ俄然貨幣市場ノ妨害ヲ來サズル限リテ可成的流通紙幣ノ額ヲ減少スヘキヲ以テテ露國銀行一時ニ千七百萬兩ヲ露國銀行ニ返還シ且同銀行ニ對シテ臨時發行紙幣ノ國庫負債ハ千八百八十一年ヨリ毎年五千萬兩ニ返還スヘキ旨ヲ以テテ露國銀行ニ命スルニ臨時發行紙幣ノ額ヲ可成的流通額ノ内ヨリ引揚ケテ之ヲ燒棄スヘキ旨ヲ以テセリ
前上ノ勅諭ヲ以テ國庫ニ負債セシメタル事項ノ實施ヲ容易ナラシメンガため爾後更ニ千八百八十四年六月八日ノ勅諭ヲ以テ大藏大臣ノ意見ニ依リ毎年紙幣五千萬兩ヲ消却スルニ方五分利附金券五分利附無期證券ヲ消却スルニ方五分利附金券五分利附無期證券ノ際右ノ證券類ハ一定ノ相場ニ據ルヘキ旨ヲ以テセリ
右ノ勅諭ニ依リ千八百八十一年ヨリ千八百八十六年マテ國庫ヨリ露國銀行へ返還シタル金額ハ都合三億千七百萬兩ニ達セリ此内一億六千七百萬兩ハ現金ヲ以テ支拂ヒ一億五十萬兩ハ金券ヲ以テ支拂ヒタリ是ニ依リテ現今露國銀行ニ對シテ國庫ノ負債額ハ一億留ナリトス又臨時發行紙幣ノ總額四億千七百萬兩ノ内、八千七百萬兩ハ既ニ燒棄シ殘リ三億三千萬兩ハ今尚流通額中ニアリ
朕今特別委員會ノ調査ヲ經テ爾カ奏上シ基キ千八百八十一年一月一日及千八百八十四年六月八日ノ勅諭ノ施行方チ今一層輕便ナラシメ金融ノ疏通ヲ謀ルタメ茲ニ左記ノ件ヲ裁可シ卿ニ之ヲ實施シテ令ス
一 臨時發行紙幣(一億三千萬兩)ニ對シテ露國銀行ノ負債額消却ノ間同銀行融通金ノ内ヨリ金貨四千萬兩ヲ同銀行兌換資金額ニ繰込ミ右金貨ノ相場ニ對當スル紙幣ノ額ハ臨時發行紙幣ノ額ヨリ扣除シテ之ヲ兌換資金ノ準備アル民間普通紙幣ノ内ニ繰込ムヘキ事
一 將來ニ於テ同負債ノ消却方法ハ卿カ意見ニ應ジ或ハ前記ノ手續ヲ以テ金貨ヲ兌換資金ノ内ニ繰込ミ若クハ現紙幣ノ燒棄方チ以テスヘシ但シ貨幣市場ノ融通ヲ妨害セザルコトヲ注意シ露國銀行ニ金貨若クハ紙幣ノ積聚セシ時ニ該ナラシメ之ヲ施行スヘキ事
(本年九月十六日官報)

雜報

○念星遊民 今回波來の朝鮮特使官職は内務府主事

年齢は廿五歳位にて先年留學生として日本に來り永く三田の慶應義塾に在りし念吉游の實弟あり尤も同氏は先年朝鮮より多く青生の來りし時は共に東京に遊び神田邊の學校に入學せし事ありたりと云へり
○設岐國琴平の豪傑 設岐國那珂郡琴平は古來金刀比羅神社を奉祀せるを以て遠近諸國より參詣する者引きも切らず旅宿賃席、劇場等も非常の繁盛を極めたる一小都會ありしが廢藩以來退々旅客も減じ近年に至りては僅々の旅客も汽船、人力車の便に據り足を留るもの稀きは市民の營業頗る衰微を現はし殆んど生計の途を失ひ加ふるに全國一般の不景氣の爲め今日は頗る寒々たる僻村と變テ工商實産を破り賣るに人なく買ふに錢なく夫婦手を別ち親子東西ニ業と求めて離散するもの多し内町、金山町等以前の中央市街も左右撥を弁べて廢屋に屬し一人の借主なくして徒に蝙蝠の羽を張り群飛するに任ずる有様なれば各地主の租税に困却し祖傳の田地を賣らんとするも代價地券面の十分一に及ばず到底永續の見込ありさば今度同地の人民一同の宅地四萬一千餘坪の地價金三萬七千四百四十八圓餘を相當の價位に減せられんと其筋へ願ひ出でたりと云ふ

○金澤通信(九月十一日發) 末松謙澄氏 縣治局長末松謙澄氏は去三日越中より當地へ着し三日間滞在して縣廳區役所戶長役場諸學校諸會社等を巡視し同七日福井縣へ向け出發したり○岡本少將 第六旅團長岡本兵四郎氏は豫て公用にて上京中ありまが一昨九日歸澤せり○阿部泰造氏 明治生命保險會社長阿部泰造氏は去月二十七日當地へ來り本月一日福井へ向け出發せしが今度當地の第十二國立銀行支店へ同社の代理店を設くることとしたり○第四高等中學校 豫て報せし如く本月中旬頃より念第四高等中學校を假設するに付專門學校の教諭ある北條今井兩理學士及大嶋多計比古の三氏は其教授と囑れられ又第二外國語の教師として鹿兒島縣士族徳永富氏が來任すると云ふ○女子談話會 師範學校訓導高崎よそ子の發起にて交際を廣くし智識を交換し以て婦女の地位を高めんとて女子談話會を設け毎月第一日曜日に會合するよし○豚 肉食の盛なるに従ひ食牛の欠乏を來せしより豚の飼養を思立つものありて春來當區及び石川郡にて數箇所飼養者露はれ頃日又市中に該肉販賣店も三箇所出來其代價は百圓八錢なり○天氣 二十日天氣は電信にて報せしが爾來も至極平穩あり新上米石に付三圓九十五錢同四圓十五錢あり

○靜岡通信(九月十四日發) 谷子翁 谷干城氏は本月九日箱根湯本十日三嶋十一日興津清見寺十二日久能山と廻りて靜岡泊りあり同日午後五時より靜岡兩嶺町の磯棚にて開きある有志懇親會に臨席し目下清見寺にある樂四朝氏も同伴したり當日の來會者は七十八名もありて各々打解たる快談よ時の移るを知らざりし十三日樂氏は清見寺より歸り谷氏は遠州掛川へ向けて出發す同地にも有志懇親會を催して氏と請するよし○伊豆銀行 は今回大改革を行ひ元來の資金三十二萬五千圓を十萬圓に減少細く手堅く業務を取扱ふとに決定したるが右は種々の事情あるにて株金は從來一株五十圓ありしも漸次下落せるを以て三嶋、大仁、菫山、大場、戸田、松嶋、下田、伊東等の各支店の内大場、下田、戸田、松嶋、伊東の五支店株主は伊豆銀行の名稱を脱し獨立して營業すると一決し唯菫山、三嶋、大仁の三支店のみにて從前の通り伊豆銀行と金を減少せしなりといふ

○大津通信(九月十二日發) 練、縮、硯共進會 執行したり同日は天都府知事始先内務省の打揚げ等常に稱な内務省地質局雇員爲光田村農商課長の大津取引所にては五日頃には本縣廳へ之助氏が出京せると當日昨日の二百二十○四日市通信(九月十日發) 內務省土木局御下高所に來着當港測量所を引揚ひ當

て從前の通り伊豆銀行と金を減少せしなりといふ
○大津通信(九月十二日發) 練、縮、硯共進會 執行したり同日は天都府知事始先内務省の打揚げ等常に稱な内務省地質局雇員爲光田村農商課長の大津取引所にては五日頃には本縣廳へ之助氏が出京せると當日昨日の二百二十○四日市通信(九月十日發) 內務省土木局御下高所に來着當港測量所を引揚ひ當
○大津通信(九月十二日發) 練、縮、硯共進會 執行したり同日は天都府知事始先内務省の打揚げ等常に稱な内務省地質局雇員爲光田村農商課長の大津取引所にては五日頃には本縣廳へ之助氏が出京せると當日昨日の二百二十○四日市通信(九月十日發) 內務省土木局御下高所に來着當港測量所を引揚ひ當